



一歩すすんだ看護師さんアンケートの結果報告

会誌編集部

I. はじめに

特集にあたり、「一歩すすんだ看護師さん」である専門看護師・認定看護師について教えてくださいというアンケートを会員の皆さまにお願いしました。

その回答内容を誌面にて報告いたします。ご回答くださった皆さま、ご協力ありがとうございました。

II. アンケート結果（回答数8）

1. あなたの病院に認定看護師はいますか？

いる 7 いない 1

2. あなたの病院に専門看護師はいますか？

いる 2 いない 6

3. 専門・認定看護師の資格を生かした活動（外来）などをされていれば教えてください（自由記入）。

1	がん化学療法看護認定看護師：院内研修、カンサーボード開催、診察前問診、化学療法相談外来（がん認定薬剤師と協働）。
2	・組織横断的な活動（学習会講師など） ・スキルアップ研修 ・院内ラダー研修（全看護職員を対象にそれぞれの領域で） ・院外講演会講師 ・1回以上／月の院内活動
3	病院内では緩和ケア外来・緩和ケアチームラウンド・職員向け研修会など。病院外では年数回「出前研修隊」として近隣の介護施設などで感染予防・褥瘡対策などの研修会を行っている。
4	ストーマ外来、禁煙外来、糖尿病療養指導外来、脳卒中予防看護外来、循環器看護外来、マタニティケア外来。
5	緩和ケア、化学療法。
6	ストーマ外来、研修の企画、化学療法室の担当、地域の病院とのカンファレンス、チームラウンド、呼吸ケア勉強会、家族看護学習会、病棟スタッフ勤務、日々の看護のアドバイス・講義などを行っている。
7	感染管理認定看護師：地域のコンサルテーションを受けることもあります。 緩和ケア認定看護師：幸いにも緩和ケア病棟棟長ですので、スタッフには教育的かかわりはできているかと思っております。院内研修で講義は1時間実施しました。 認知症看護認定看護師：認知機能が低下している人の日常生活活性化のため「院内デイケア」を開始しました（特に認定看護師の資格が必要なわけではないのですが……）。 救急看護認定看護師：院内講義の実施や院内救命処置時に参集します。

4. 専門・認定看護師さんに対し、図書館がサポートしていることがあれば教えてください（自由記入）。

1	とくにありません。
2	文献検索。
3	雑誌や図書の購入。文献複写。
4	特になし。
5	特にない。
6	文献のとりよせ、文献検索のサポート。
7	専門・認定看護師だからということではなく、他の利用者と同様にレファレンスワークや文献検索代行などのサポートを行っている。

5. 専門・認定看護師さんおすすめの、病院図書館に置くとよい書籍があれば教えてください？ また、おすすめポイントや誰向けかなど、その書籍のいい点もあわせて教えてもらえると助かります（自由記入）。

1	・曝露対策合同ガイドライン 院内啓蒙活動に役立ちます。
2	看護研究に関する本 ・看護研究原理と方法 ・バーンズ&グローブ 看護研究入門（看護研究に対してわかりやすい）
3	数が多すぎて答えられないそうです。
4	特になし。
5	〈救急認定看護師〉 ・重症集中ケア 根拠がわかりやすく記載されている（中堅～ベテラン看護師）。 ・看護師と看護学生の資格 ・進学キャリアアップガイド 自分の将来の方向性を検討できる（すべての看護師）。
6	・感染にかかわる各ガイドライン（CDC ガイドラインなど） ・インфекションコントロール ・具体名はわからないが一般書 ・絵本など感性にひびくようなもの ・疱疹ガイドブック すべての医療従事者向け、画像も多くわかりやすい。各分野のガイドブックはだれでも閲覧できるようにしてほしいと思います。 ・大野博司 著 「ICU/CCUの薬の考え方、使い方 ver2」 クリティカルケア領域の治療や薬剤について詳しく書かれている。医師向きの本ではあるが、CNの講義にも来られている医師が著者なので、具体的な内容でわかりやすい。ある程度、クリティカルケアで経験を積んだ看護師であれば、理解しやすいと思う。 ・エマージェンシーケア（メディカ出版） 初心者からエキスパートまで幅広くカバーしている。各施設の取り組みや最新のエビデンスなども紹介されている。イラストや写真なども多く読みやすい。 ・「看護実践に活かす中範囲理論」 全ての看護師に対して、日々の実践を例に理論を通して介入例が書いてある。壁にぶつかった時のヒントや研究に利用しやすい。 ・「最強！心不全チーム医療」「心不全の基礎知識100」「Heart（循環器ナースング）」「Heart nursing」 循環器看護師が知っておくべきことだけでなく、医師も、チーム医療について学べる一冊になっている。

7	<p>感染管理認定看護師： ・「インфекションコントロール」(月刊、メディカ出版) 現場、実践に即している内容かつ、旬な話題が掲載されているので、お勧めです。</p> <p>緩和ケア認定看護師： ・緩和ケアに関するガイドラインはおすすめです。 ・「がん看護」(隔月刊、南江堂)、「緩和ケア」(隔月刊、青海社)</p> <p>摂食・嚥下障害看護認定看護師： ・小山珠美『実践で身につく！摂食・嚥下障害へのアプローチ』(学研メディカル秀潤社、2012年) ・藤島一郎『Q & A と症例でわかる！摂食・嚥下障害ケア』(羊土社、2013年) どちらも症例がたくさん掲載されているので、ジェネラルナースにもわかりやすい。</p> <p>認知症看護認定看護師： ・中島紀恵子『認知症の人々の看護』新版(医歯薬出版、2013年) 看護師向けです。認知症看護に関することが網羅されています。 ・クリスティーナ・ボーデン『私は誰になっていくの？アルツハイマー病者からみた世界』(かもがわ出版、2003年) 医療者・家族向け。認知症の人が感じている世界を書いているので、患者さんの理解するヒントになります。</p> <p>がん性疼痛看護認定看護師： ・日本がん看護学会監修『がん看護実践ガイド』シリーズ(医学書院) どれも最新の情報が盛り込まれていて、文字通り実践向き ・吉田みつ子『看護倫理 見ているものが違うから起こること』(医学書院、2013年) 日常よく経験する看護場面を、シーン別に漫画と文章で解説しているので新人でもイメージしやすい。 ベテランは初心に返れる。 ・余宮きのみ『がん疼痛緩和の薬がわかる本』(医学書院) 痛みがあるがん患者さんの看護を行うスタッフであれば誰でも一度は調べたくなることが書いてある。 辞書的に使える。 お勧めしたいものはたくさんありますが、キリがないと思うのでこの3点にしておきます。</p> <p>救急看護認定看護師： ・『外傷初期診療ガイドライン JATEC』(へるす出版) ・『外傷初期看護ガイドライン JNTEC』(へるす出版) 全国共通になっている診療ガイドラインで、専門的なことがわかりやすい。 あとは、だいたい救急関連のガイドラインはあった方がいいです。</p>
---	--

Ⅲ. おわりに

いかがでしたか？ 看護師と一言でいっても奥が深いですね。皆さまの業務の参考になれば幸いです。

(文責：井上智奈美/三菱京都病院)